



ONE WORLD **Info**

英語教育 通信

新版ご使用にあたって

Springboardで「橋渡し」！ 小学校外国語活動から中学校英語への移行 … 酒井 藤恵

4技能の力をさらに伸ばすための教科書ページ … 本多 敏幸

Writing Tips 1 を扱う上での留意点 … 金枝 岳晴

A Message from the Sea Ice — 『流氷の伝言』の撮影現場から … 小原 玲

とっておきの英語 3 I hope. … 野田 小枝子

今ドキ英語事情

OWIC (ONE WORLD Info *Imadoki* Corner) … Peter J. Collins

Springboard で「橋渡し」！ 小学校外国語活動から中学校英語への移行

酒井 藤恵（東京家政大学）

1. はじめに

2012年度は小学校外国語活動を必修科目として学習してきた児童が中学校に入学してきます。少なくとも週に1度、英語に触れてきた児童にとって、英語はもはや、中学校生活開始の象徴的な科目ではありません。したがって中学1年4月はこれまでの「入門期」とは異なり、中学校英語への「橋渡し期」である、と認識を新たにすべきでしょう。外国語活動から「教科としての英語」へスムーズな移行ができるよう、教科書の本課（Unit）前に、Springboard というセクションを設けました。従来、この部分は付録的な内容と見なされがちだったかもしれませんが、新版では Springboard, 「跳躍板, 出発点」と、名称も新たにし、さまざまな観点から工夫された活動を用意しています。指導書をお持ちの先生はご覧いただければおわかりのとおり、このセクションは、小学校で学んだ単語や表現の復習にとどまらず、中学校での学びに対する心構えや具体的な学習方法を伝えるねらいがあります。以下に幾つかの指導の観点を述べていきます。

2. Springboard 1・2

まず、授業開きでは、教師の自己紹介を簡単な英語で行うとよいでしょう。外国語活動で「わからない発話でも意味を類推しながら聞く」という Inference（類推）のストラテジーを身に付けていると思われるからです。また自己紹介は教師が一方的に話すのではなく、教師への質問を日本語でもよいので受け付けながら、インターラクティブに行うと楽しさが増します。

Springboard 1 では、家の中のいろいろな

道具やものの名前、2では屋外での人々の対話が扱われています。いずれのページでも、生徒は小学校で習った単語をどんどん発言したいはずです。元気よく挙手した生徒を順に当て、知っている単語や対話表現を言わせたり、その逆に音声聞かせて絵の番号を当てさせたりするのもよいでしょう。絵を見せて何と言っているか、セリフを言わせるなどの発展的な展開法も考えられます。いずれにせよ、CDを聴かせて Listen & repeat のような活動は避けるべきでしょう。

中には英語を使いたくてうずうずし、何度も発言しようとする生徒もいるでしょうが、よく目配りし、指名に極端な偏りがないように注意したいものです。挙手できない生徒に対しては、声をかけるなどの工夫が必要です。単にどんどん単語が言えればよい、という訳ではありません。中学校英語では、誤った発音や表現は必要に応じて訂正され、繰り返し練習する場面も出てきます。もちろん、4月早々、徹底的な発音矯正をすることは得策ではありません。小学校の外国語活動では、訂正されて繰り返し練習することにあまり免疫がないと思われるからです。しかし、中学英語では、より自然な発音と正しい表現を習得できるまで声に出して練習する、などの態度と習慣を初期の頃から身に付けさせたよいものです。

3. Springboard 3・4

Springboard 3・4 では、アルファベットの文字とつづり字を扱います。小学校の外国語活動では基本的に文字指導を行わないため、文字の学習を心待ちにしていた生徒も多いはず。たくさんの単語や表現が言える

ようになれば、「外国の文字を知りたい」「アルファベットを書きたい」「言っていることを書いてみたい」という欲求が生まれるのは極めて自然なことだからです。一方、つづり字が覚えられないことが、中学校で英語につまずく要因のひとつになっています。そこで3のアルファベットの音声指導と書く指導を丁寧に行ったあとに、4のフォニックスを導入し、「つづり字が発音を示している」ことを理解させるとよいでしょう。

筆者は恩師から授業体験に関する次のようなエピソードを聞いたことがあります。授業で教師が生徒全員を各自の机にうつ伏せにさせ、静まりかえった中で、生徒一人ひとりの耳元で、desk, notebook と1単語ずつ発音して回ったそうです。恩師は、その時の英語特有の響きの美しさが大変印象的だったと述懐されていました。

このエピソードは、にぎやかな声が鳴り響く外国語活動とは対照的な英語授業のワン・シーンかもしれません。外国語活動は「静」と「動」、いずれかといえば明らかに「動」でしょう。学級担任やALTが常に声を張り上げて指示を出している場面も多いようです。しかし、中学英語では、しっかりと着席をさせて、静寂の中で、日本語にはない英語特有の音声を存分に生徒に聞かせ、リピートをさせ、フォニックスなどの本格的な導入を行うことも中学英語ならではの活動となるでしょう。

4. Springboard 5

Springboard 5では、教科書の登場人物の自己紹介を聞き、物語への期待感を持たせることがねらいとなっています。教科書に掲載された表を完成させることで、登場人物の出身国や趣味がわかり、これから本課を読み進める上でそれらの背景知識は役に立つことでしょう。

5. おわりに

以上、Springboardの内容やねらいなどを概観してきましたが、中学英語では、ページが進む度に前ページの復習をする、ということも、欠かせない作業です。外国語活動でも前時で学んだ表現を復習する機会はあったでしょうが、「復習」という明確な概念はなかったはずです。まして、家庭学習は義務付けられていなかったでしょう。中学校では授業での学びと家庭学習との両輪で生徒は英語の力をつけていき、徐々に自律した学習者（autonomous learner）への成長を促すこともできます。

Springboardは外国語活動の楽しさを思い出させ、満足感・成就感を味わうことができるように工夫されているセクションです。外国語活動では、ともすると授業時間内の限られたinputを、即座にすべてoutputさせるような活動も見受けられます。例えば、人が何かをしている動作（進行形）の絵が数種類（walking / dancing / playing the guitar / playing soccer, etc）提示され、What is he doing? He is walking. などと何回か練習させ、その後、グループになって、絵カードをめくりながらお互いに言い合う、という活動です。このような活動は何度も練習すれば、児童でもこなすことはできます。しかし、中学英語では、より必然的なinputを大量に与え、無理のないoutputを期待したいと思います。その際に、生徒がその発話をする意味を十分に理解し、英語を用いることに肯定的な態度を養えるように導いていくことが望ましいでしょう。

小学校から中学校へのスムーズな移行の中にも驚きと発見があり、目を輝かせて授業に臨むことができる、そんな英語の授業をSpringboardと共に始めようではありませんか！

4技能の力をさらに伸ばすための教科書ページ

本多 敏幸（千代田区立九段中等教育学校）

1. はじめに

ONE WORLD English Course では、4技能のバランスのとれた英語力が身に付くようにさまざまな言語活動を配置しています。たとえば、書く力を育てるため、Task と Project には数文程度のまとまりのある文章を書かせる活動を設けています。また、読む力を育てるため、読み物教材である Reading や Further Reading を充実させています。さらに、書く力をつけるために Writing Tips を、読む力をつけるために Reading Tips を新たに設けています。聞くことと話すことについては、Activity, Task, Project においてさまざまな活動を設けていますが、その中で、即興的な会話力を身に付けさせるために、Let's have a chat! を設けています。

これらのうち、本稿では、平成24年度版から加わった Writing Tips と Reading Tips、および Chat Corner から名称が変わった Let's have a chat! について説明したいと思います。

2. Writing Tips について

このコーナーでは、カード、日記、スピーチ原稿など実際に書く活動を行うときのコツや基本的な表現を載せています。3年間で次の5回の Writing Tips を設けています。

<1年次>

Tips 1 正しく文を書き写してみよう

英文を書く基本的なルールを示しています。

Tips 2 カードで気持ちを伝えよう

クリスマスカードの書き方について示しています。宛名や書き方の基本様式のほかに、「こんな表現を使ってみよう」で、実際によく使われる表現を紹介しています。

<2年次>

Tips 1 日記を書いてみよう

日記の基本的な書き方について示しています。「こんな表現を使ってみよう」では、自分の気持ちや感想を表すための語句を紹介しています。また、「ちょっとアドバイス」では、天気の詳細方法を示しています。

Tips 2 マッピングを使ってみよう

スピーチ原稿などを書く際にブレンストーミングとして使われるマッピングの手法を紹介しています。

<3年次>

Tips 日本の文化を紹介する文を書こう

日本文化を題材として、ものを紹介するときの英文の書き方について示しています。

これらは独立したページとなっているので、教科書の進度に関係なく、都合のよい時期に指導ができるようになっていきます。たとえば、2年次の Writing Tips 1「日記を書いてみよう」の配置は Lesson 2 のあとの29ページですが、ゴールデンウィークの宿題にするために、4月末に指導を行ってもかまいません。また、Writing Tips 2「マッピングを使ってみよう」は54ページに載っていますが、それまでにスピーチなどでまとまりのある文章を書かせる活動を計画している場合には、その直前に指導すると効果が上がります。

3. Reading Tips について

Reading Tips は読み物教材の Reading の直前に配置されているコーナーで、文章を読む際のコツを載せています。3年間で次の5回の Reading Tips を設けています。

<1年次>

Tips 物語文を読んでみよう

物語文の“Alone”を読む前に、直接話法における発話者の表し方や代名詞について学べるようになっていきます。

<2年次>

Tips 1 できごとの順序に注意して読もう

物語文の“Stone Soup”を読む前に、できごとの順番を把握する練習ができるようになっていきます。

Tips 2 順序立てて理由を説明する文を読もう

説明文の“A Message from the Sea Ice”を読む前に、理由の述べ方を理解する練習ができるようになっていきます。

<3年次>

Tips 1 説明文の要点をつかもう

説明文の“Audrey Hepburn”を読む前に、説明文の構成について学べるようになっていきます。

Tips 2 文の流れを表す語に注意して読もう

説明文の“Body Clocks”を読む前に、文章を読む際に流れを分かりやすくするための接続詞や副詞を学べるようになっていきます。

4. Let's have a chat! について

チャットとは、「生徒同士で会話を展開していくコミュニケーション活動」(本多, 2003)です。生徒をペアやグループにさせ、教師が提示したトピックで会話を継続させていくことが基本となります。継続的に活動させることで、最初は20秒間も続かなかったチャットが次第に続けられるようになり、3年次には数分間続くようになります。

Let's have a chat! では、1年次で3回、2年次で4回、3年次で4回、合計11回のコーナーを設けています。これにより会話を継続していくための基本的な技術や表現が学べるようになっていきます。また、指導技術や表現の練習がCDに収録されているので、CDを聞かせることによって効果的な練習ができるようになっていきます。

Let's have a chat! は Task のページに設

けてありますが、必ずしも Task と一緒に行わなければならないということではありません。また、指導する時期も教科書の進捗と切り離して計画してください。たとえば、Lesson 3 の Task に Let's have a chat! があったとしても、Lesson 3 を行う前や Lesson 4 に入ってから指導しても構いません。また、チャット活動のコツは、同じトピックについてパートナーをかえて数回行わせることです。したがって、1回の指導で終えるのではなく、帯活動として行うことをお奨めします。取り扱い方の例を示します。

<第1時>

(1) Let's have a chat! の指導を行う。

(CDを聞かせる) <5分程度>

(2) 例文や会話表現などを復唱させる。

<3分程度>

(3) 生徒同士をペア(グループ)にしてチャットを行わせる。<1~5分程度>

<第2時>

(1) Let's have a chat! の例文や会話表現を復習する。<2分程度>

(2) 第1時のパートナーとかえてチャットを行わせる。<1~5分程度>

<第3時以降>

授業のはじめにチャットを行わせる。第1時と第2時と違うパートナーにするとよい。これを3~5時間程度、帯活動として行う。

5. おわりに

Writing Tips, Reading Tips および Let's have a chat! は1時間のすべての時間を費やして指導するコーナーではありませんが、とても重要な活動となります。指導計画の中に配置していただき、ぜひ有効に活用してください。

<参考文献>

本多敏幸(2003)『到達目標に向けての指導と評価』(教育出版)

Writing Tips 1 を扱う上での留意点

金枝 岳晴 (東京学芸大学附属竹早中学校)

1. 「書くこと」を生徒の立場から考える

英語にしる数学にしる社会にしる、その教科の教師になった方は、生徒の頃からその教科が好きだったり、得意だったのだらうと思います。しかしそこにはひとつの問題があるように思われます。それは「できない人の気持ちかわからない」ということです。

例えば、「D の大文字はこうで、小文字は d だ」と教われば、そういうものかと納得し、かつ定期試験でも「間違えずに」書けた、そういう方が教師になったという例が多いと思うのです。しかし生徒の中には、「どうして D が小文字になると、丸い部分が逆を向いてしまうのだらう」と疑問を持つ生徒も少なからずいるのではないのでしょうか。

この小文での「書く活動」「書くこと」は、センテンスやまとまりのある文章を書くことではありません。私がここで取り上げたいのは、それ以前の「文字そのものを書く」ということです。具体的にいえば a という文字を生徒に書かせるときに、どのような指導が必要なのか、何を指導すればいいのかということを考えてみたいと思います。

2. 生徒にとっての英語の文字

現在小学校で行われている外国語活動は、「音声を中心に外国語に慣れ親しませる活動」が中心ですが、文字に全く触れないというわけではありません。また、ローマ字の指導は小学校3年生で行われるもので、中学校に入学してくる生徒は、ある程度は英語の文字について知識を持っているのが普通であると思われる。

私たちの生活の中には、すでにアルファベットがあふれています。例えば鉛筆の芯の

濃さを表す「HB」や、洋服などのサイズを表す「S・M・L」などは小学生にもなじみのものでしょう。

しかしだからといって、「英語の文字を書くことは難しいことではない」「多くの時間を割いて指導することではない」と考えるのは問題があると思われます。例えば入学前の宿題と称して、ペンマンシップを配布し、書けるようにしてきなさいなどという指導は、あまり感心しません。英語の文字を書くとはどういうことなのかを、ひとつひとつ丁寧に指導する必要があると思うのです。

3. 大文字と小文字

「アルファベットは大文字と小文字のどちらが先にできたのですか」と問われたら、どうお答えになるのでしょうか。案外教わることのない点だと思います。アルファベットは大文字から先にできました。そして大文字がやがて変形し、小文字になったことが知られています。

「S の小文字は s です」と教われば、まるで縮小コピーのように小さくなったのだなと納得できますが、「Q の小文字は q です」と言われても、すぐには納得できません。形が大きく異なるからです。このことを指導するためには、それぞれの大文字がどのように変化して小文字になったのかを指導する必要があります。このようなことを教師が知る手立てとして、『英語教育の常識』(中教出版、1980年)などを参考にするといいと思います。

4. 活字と「手書き用文字」についての注意点

生徒が目にする活字の書体はさまざまで

す。例えば A の小文字ひとつとってみても a, a, a などの書体があります。Writing Tips 1 の活字も a のような書体です。ところが手で文字を書く場合、a のように書くことはあまりないように思います。理由のひとつに「真円（まん丸）」は書きにくいということがあると思います。本教科書の活字もこれに近いものですが、これをそのまま手本にするべきか、考える必要がありそうです。

コンピュータを用いて教材を準備するのが当たり前になりました。そこで問題になるのがフォントです。どのフォントを用いるかは教師の好みもあると思いますが、手書き用文字との関連をよく考えて選びたいものです。

また、ONE WORLD English Course 1 では、Lesson 8 から本文の活字がサンセリフ体からセリフ体が変わっています。このような場合にも、生徒に活字の形にどんな違いがあるのか指導したい点です。

5. 「I の横棒」をめぐる

この Writing Tips 1 では、「大文字の I」には横棒 (serif) を「つけても、つけなくてもいい」と教えてくれています。このことについては「L の小文字と区別がつかなくなる」という理由で「つけねばならない」とする指導があると思います。

横棒のない I と小文字の i は「それだけを」比べたら、確かに似ていますが、単語や文の中で誤解されることはまずありません。これはカタカナの「カ」と漢字の「力」との関係に似ています。

ひらがなの「そ」はひと筆で「そ」と書いても、ふた筆で「そ」と書いてもどちらでもいいものです。ある国の日本語の教室で「中間テストでは、ふた筆で書く『そ』は×です」などという指導が行われていたとしたら、それは全く滑稽なことです。それと同じことではないでしょうか。英語母語話者の中には、「I の横棒」をつける人もいれば、つ

けない人もいるのですから。

6. 文字から単語へ

文字をつなげて単語を書く場合にも指導したい注意点があると思います。

文字の間隔はどのくらいがいいのでしょうか。文字と文字はあまり空けすぎてもいけません。くっつけすぎて誤解が生じる場合があります。例えば c と l をくっつけすぎて書くと、(文意から判断はつくでしょうが) clear なのか dear なのか混乱します。

生徒が辞書を引いて単語を書き写す場合、beau·ti·ful のように音節を示す中点まで書いてしまうことがあります。この点は辞書指導との関連もありますが、指導上の盲点のひとつだと思います。

また、これに関連して、syllable と hyphenation の関係がありますが、中学生のうち「行の終わりにきて書ききれない単語は、次の行にその単語全部を書く」と指導する方がいいでしょう。

単語と単語の間隔についてはどうでしょうか。「文字ひとつ分」では曖昧です。i と m では、文字の幅が違うからです。Writing Tips 1 には、目安として小文字の o 1 つ分くらい空けると書かれています。

7. おわりに

キリル文字の ы を見せられて、「さあ、手で書いてみなさい」と言われたら、どうお感じになるでしょうか。「どうやって書くのですか」と聞きたくなることでしょう。

アルファベットの指導にも同じことがいえるのではないのでしょうか。「書く活動」は丁寧な文字指導から始まるのだと思います。

Writing Tips 1 はわずか 1 ページばかりのものですが、生徒の立場に立って考えたとき、気を配るべき点は多い 1 ページなのだと思います。

A Message from the Sea Ice — 『流氷の伝言』の撮影現場から

●小原 玲（動物写真家）

タテゴトアザラシの赤ちゃんは2月の末に流氷の上で生まれ、約2週間お母さんと一緒に暮らします。たった2週間の母子の期間ですが、その間には赤ちゃんの成長とお母さんの愛情が凝縮されて、非常に濃い母子のドラマが展開されます。私はそれに魅せられて、元は報道写真家だったのですが、動物写真家に転身してしまいました。

報道写真家としての私は、中国の天安門事件、湾岸戦争、ソマリアの飢餓など世界の紛争地を回っていました。非常に過酷な現場の取材を通して、私は人間の悲しみをちょっと見すぎたように感じていました。

このままでは写真が嫌いになってしまう。私は何か違う被写体を求めていました。そして私が出会ったのが、カナダのタテゴトアザラシの赤ちゃんなのです。1990年のことでした。

流氷の上でアザラシの赤ちゃんに出会ったときに、私は「こんな風に撮影してみよう」と考えていた思惑をすべて忘れました。「可愛いなあ」その感動でシャッターを押すだけで精一杯だったのです。私は感動しながら写真を撮る喜びを思い出しました。

そして、自分が喜び、感動しながら撮った写真は多くの人を喜ばすことができました。日本に戻ってアザラシの赤ちゃんの写真を雑誌で発表したら、発売日に電車の中で私が撮った写真をずっと見ている女性がいました。そしてその方は何分も写真を見た後に、



水中に適した目をしているので氷上ではボケてしまうため、母子は匂いで互いを識別する。

定規を使って写真を切り取り、手帳に挟んでいきました。私はその行動のびっくりし、「どうせ撮るのなら人に大事にされる写真を撮りたい」と思うようになり、動物の写真を撮るようになりました。

そしてそれから20年間以上、毎年2月の末から3月にかけて、流氷の上のアザラシの赤ちゃんを撮り続けてきたのです。

1人の動物写真家がこれほど長い期間海外の被写体を追い続けることは珍しいことです。それは3、4年も撮ればだいたいの生態は撮れるので、普通の動物写真家なら、その後は同じ時期に撮れる別の被写体を撮りにいきます。そのほうが動物写真家として持てる写真の種類が増えるからです。

しかし、私は動物写真家になりたかったわけではなく、報道写真家をやめたかっただけなのです。なので私はそのきっかけになったアザラシの赤ちゃんをずっと撮り続けていたかっただけです。それで20年以上も通い続けることになったのです。

それで見たのが、地球温暖化による流氷の変化です。

当初は、流氷の減少は一時的なものだと

思っていました。1998年は流水が非常に少ない年で、不思議に思いました。翌年も少なかったのですが、翌々年にはかなり増えていたからです。流水は毎年増えたり減ったりするものなので、なかなか最初は流水が変化していることに気づきませんでした。

「地球温暖化は非常に速い速度で進行している」そう思った私たちは、いろいろなメディアや学者にそれを伝えましたが、多くの方は「まだ地球温暖化と断定するには早計じゃないか」という考えで、深刻に受け取ってくれませんでした。

ようやく「地球温暖化で生きものたちの生活に変化が起きている」と認識されるようになったのは、2006年の映画『不都合な真実』が公開されてからです。しかし、その間に温暖化は進行し、ホッキョクグマは絶滅危惧種になってしまいました。アザラシの赤ちゃんは年によって数十万頭規模の大量の溺死が疑われています。

ただし産まれたアザラシの赤ちゃんが流水の減少によって大量に溺死したとしても、タテゴトアザラシの種の全体数には、すぐに大きな変化は現れません。タテゴトアザラシのメスは毎年出産するので、繁殖力は非常に高く、氷が多い年が時々あれば数はすぐに回復します。

数の変化はむしろアザラシの赤ちゃんを食べるホッキョクグマに現れます。ホッキョクグマにとっては、親のアザラシより赤ちゃんのアザラシのほうが補食しやすいため、その赤ちゃんアザラシが年によって大量に亡くなれば、ホッキョクグマにとってはその年の食料の激減を意味します。

このように流水の変化を見てきた私は、次の世代に伝えたいことがあります。

私は環境問題で「自然を大切にしよう」「地球環境を守ろう」とかいうのをあまり好みません。そのような言葉で解決できるのであれば、戦争も飢餓や環境問題もとっくに解決で

きているはずですが、しかし、私が写真家として見てきたものはそれとは逆です。

小さな子どもに「おもちゃを大切にしない」と言っても守れません。でもどんな小さな子どもでも自分の好きなおもちゃは大切にできます。なので「大切にしよう」「守ろう」よりもっと大事なことは、「好き」ということだと思っています。

「好きなものは大切にしたい」「森が好き」「トンボが好き」「道ばたに咲く花が好き」身近な自然に「好き」なものがあることが大事だと思っています。そしてそれがあれば必ず次世代は地球温暖化問題を解決していく。一番大事なものは「好き」なのだ、そのことを私は『流水の伝言』として伝えたいと思っています。

皆さんがアザラシの赤ちゃんが「好き」ならきっと、アザラシの赤ちゃんのことや自然との共生のことを考えてくれる、そう思っています。

さてこれを書いているのは、2012年のアザラシの赤ちゃんの取材をしている、カナダ東海岸のセントローレンス湾にあるマドレーヌ島のホテルです。このホテルがチャーターしたヘリコプターで毎日流水に向かい、アザラシの赤ちゃんを撮影します。

2009年、2010年とセントローレンス湾の流水は異常に少なく、アザラシのウォッチングツアーがキャンセルになり、私は3年ぶりに島を訪れました。

2012年の今年は決して多いほどではないけれど、2月中旬には流水がかなりの面積になり、久しぶりに流水に行けることになりました。

アザラシの赤ちゃんが産まれたのは2月25、26日ごろ。昔は28日ごろだったので、少



2012年2月26日に産まれたばかりのタテゴトアザラシの赤ちゃん。

し早くなっているとカナダの生態学者も指摘しています。流氷が悪くなった分、早めに産もうとしている傾向なのです。

ところが翌日から気温が上昇し、強い風が吹いて、それで氷が急激に減少しました。流氷の面積は1日で半分ほどに減ってしまい、このままでは今年は観光シーズンが始まってすぐに、アザラシがいる流氷がなくなってしまうのではないかと考えられました。

セントローレンス湾の流氷は北から流れ入ってくる氷と、セントローレンス川の河口でできるものがあります。北から流れてくる氷は海水が混じり合って、海水は-2℃以下で凍り、非常に固く凍っています。しかし、河口の氷は淡水が凍ったばかりなので0℃が氷点で、簡単に解けてしまいます。今年の氷はこの河口の氷がほとんどだったのです。

しかし、解けるのも速いかわりに固まるのも速い。2月の28、29日が非常に寒かったので、氷は再び氷結し、なんとか観光ツアーが無事に始まりました。

アザラシの赤ちゃんはお母さんと2週間を一緒に過ごし、その後は氷に置いてから、もう2週間ほど自力で泳ぎと補食の練習をして独り立ちをします。最初は泳ぎが下手くそで、子どものバタ足のようなものですが、だんだんと日々上達していきます。つまり独り立ちまでの生後4週間は流氷が必要なのです。

この流氷が生後2週間ぐらいで解けてなく



お母さんと赤ちゃんと一緒に暮らすのはたった2週間。

なってしまう年が頻発していました。

今年も観光シーズンはなんとか始まって、3月13日に最後のヘリが飛びました。ところが流氷はすでにボロボロになっていて、ヘリが着陸できるような氷がないのです。かなり長い時間探して、ようやく着陸できる氷を見つけました。

赤ちゃんたちは生後16日ぐらい。ほとんどの母親はすでに氷から消えていました。

そしてその日の午後、島の高台から流氷を超望遠レンズでねらいました。粉々に砕けた流氷が荒れた海で渦をまくかのように波打ちだっていました。その小さな氷にアザラシの赤ちゃんがしがみつこうように乗っていました。



2012年3月13日、アザラシの赤ちゃんの乗った氷はボロボロに溶け出してしまった。

この高波だと1度氷から落ちたら、そうそう簡単には上がり直せないでしょう。赤ちゃんたちはどうしたらいいのか不安そうにしているけど、しがみつただけで精一杯です。他の場所も見にいき、島から流氷が急速に離れていくのを確認しました。そして2時間ほどたって先ほどの荒れる波の氷が見られる高台に戻って来たら、双眼鏡で確認できる赤ちゃ

んの数明らかに少なくなっていました。

今年の流水もアザラシの赤ちゃんたちを守り育てることができなかったようです。

「地球温暖化を止めるにはどうしたらいいか」私はよく子どもたちにこの質問をします。すると返ってくる答えは小学生から大学生、一般まで見事に同じです。

「エコバッグを使う」「割り箸をやめてマイ箸を使う」「省エネをする」「リサイクルをする」これらの答えが即座に挙がります。そして私は次にこの質問をします。

「それらをきちんとしたら地球温暖化は止まるかどうか、止まるか、止まらないか、で答えて下さい」。するとなんと、「止まる」に挙げるのは3%弱、ほとんどの子どもは「止まらない」に手を挙げます。「おかしいじゃないか。先ほど私は『地球温暖化を止めるにはどうしたらいいか』と聞いたのに、挙がって来た答えではみな『止まらない』と答えている。これはさっきの答えは間違いでしたということになるではないか」。

ではなぜ「止まらない」に手を挙げたのか。子どもたちはきちんと答えます。

「だって僕のクラスだけやっても意味がない。世界中の人がしないといけないのに、その部分が答えに入っていないから」と数の問題を子どもが見抜きます。

「僕のお母さんはそれを全部やっている。でも地球温暖化はどんどんひどくなっている。だから僕は追いつかないのではと思う」。これは実は科学者たちが言っていることと変わりません。今温暖化対策を国際的に取り組むと、30年後に少し温暖化の速度が緩む、と指摘されているのであって、科学者たちは誰も温暖化が止まるなどとは言っていないのです。

子どもたちでも少し考えると、自分たちでこの問題の難しさに気づくだけけれど、私たち大人は不十分な答えばかりで、この問題の

深刻さを、きちんと子どもたちに伝えていないのではないのでしょうか。

20年以上、流水の変化を見続け、今年もアザラシの赤ちゃんたちの水が急速になくなっていくのを見て、私はこの地球温暖化の変化の急速さと深刻さを伝え続けたい。その問題が深刻だからこそ、その対策を考える原点をはっきりとさせたい。

小学校の低学年の頃には、休み時間や放課後に校庭に落ちているドングリや落ち葉で遊ぶ子どもたちが、小学校高学年では少なくなり、中学生にもなるともう見ることはなくなります。子どもたちは小さい頃は、日常的に自然と遊んでいるのですが、だんだんと成長するにつれて自然と遊ばなくなります。

そしてその代わりに「自然を大切にしよう」「地球環境を守ろう」という標語を口にするようになります。これは子どもたちに自然をテーマにした詩を書かせるのとときめにわかります。小さい頃は「ドングリが好き」「とんぼが好き」と自分の「好き」なものが書かれていた詩が、小学高学年から中学生になると、見事に「地球環境を守ろう」に代わります。

そして「地球環境を守ろう」と言っている子に、「地球環境ってなんだ？」と聞くと答えにつまります。自分でそれが何だかわからないものを「守ろう」といっているわけです。

「好きなものは大切にしたい」

これこそが人間と自然との共生の原点だと思います。「守ろう」ではなく「好き」のほうが、はるかに力があります。小理屈の「守ろう」よりも、感情の「好き」、その大切さを私は子どもたちに伝えたいのです。

もしからしたらそれに気づいたことが、私が報道写真家から動物写真家に代わった原因なのかもしれません。

(表紙写真：小原氏撮影)

I hope.

●津田塾大学大学院 野田 小枝子

お元気で新学期を迎えていらっしゃると思います。今回は「希望がかなうとよいと願う」英語表現、特に hope と wish を使った文について扱いたいと思います。

hope と wish は名詞、動詞の両方で用いられますが、動詞の用法についてまずまとめておきたいと思います。よくご存じとおっしゃる方はこの下の文法は飛ばして映画の部分にお進みください。

英語の I hope (that)... の表現は「～といいな。」「～(します)ように。」などの日本語に対応させることが多いと思います。I hope I'll see you soon. は、「何かが実現することを願っていると伝える」というコミュニケーション機能を果たす表現です。

that 節の中身によっては、I hope you can join us. のようにコミュニケーション機能的には誘いの表現に近いものもあります。I'm hoping you can join us. と進行形にすると少し遠慮がちな誘いの表現ができます。また、I had hoped you could join us. と過去完了形になると、仮定法ではないにもかかわらず、「来ればいいと思っていたのに」と過去において残念に思った、あるいは非難する気持ちだったという表現になります。

よく対比される wish を使うと、I wish you could join us. のように that 節は仮定法になり、来られない事実を残念に思っている気持ちを伝える表現になります。I wish you had joined us. は、過去において参加できなかったことを今残念に思っている、あるいは非難しているということです。コミュニケーション機能としては hope that... とは全く異なる機能(非難する、残念がる)を果たします。

願望を表すのに、I hope to see you soon. のように後ろに to 不定詞が来る形も使われ

ます。wish にもこの用法があります。下の2つを比べてみましょう。

I hope to go to Paris some day.

I wish to go to Paris next year.

hope を使ったほうが、まだ具体的でなく漠然とした願望を表すのに比べ、wish を使うとより具体的実現を頭に置いた願望となります。同時に、wish を使うほうが形式的表現になります。

後ろに来るものが文法的に両者で異なるのは、次のような場合です。

I hope for your quick recovery.

I wish you a quick recovery.

hope は後ろに前置詞句、wish は後ろに2つの目的語(最初は「人」、2番目は「願いの内容」)を取ります。I wish you a Merry Christmas. はこの形です。この場合も両方も十分に実現可能であることを願っている表現になります。

従って、動詞としての hope と wish の棲み分けは that 節を補文にするときに最も端的に表れ、補文が表す内容について話し手が起こりうる現実と捉えていれば hope を、起こり得ない非現実と捉えていれば wish を選択するという実に面白い棲み分けになります。

なお、平成24年度版の *ONE WORLD English Course* では、hope + that 節の形が2年生59ページ、hope + to 不定詞の形が3年生28ページで登場します。

この hope という動詞を非常に印象的に使った映画をご紹介します。

映画のタイトルは、『ショーシャンクの空に (*The Shawshank Redemption*)』です。脚本は、フランク・ダラボン (Frank Darabont) 監督が自ら書き下ろしたものです。1994年に映画化されると、アカデミー賞

7部門にノミネートされ、モーガン・フリーマン (Morgan Freeman) はこの映画で彼の最初のオスカーを獲得しました。原作はスティーブン・キング (Stephen King) の *Rita Hayworth and Shawshank Redemption* という中編小説です。

私のこの作品との出会いは10年ほど前になります。ある大学の理工学部2年生の選択で「映画で英語」といった内容のクラスを担当していました。学期に1つ脚本を読みながら映画を少しずつ観ると同時に、何人かずつ、観た映画の要約と映画評を英語で発表させていました。教科書には、市販の脚本・解説本ではなく、本物の脚本を使用、場合によっては、なぜ映画では変更されているのかを考えさせました。ほとんど英語での授業でした。

映像があるのはすばらしいことで、役者の視線がどこに行っているとか、街並みや家の中の戸棚にある缶詰の種類から、その人の生活のどんなことがわかるかを考えさせました。気づいてもらいたいことはいくらかもありました。

『ショーシャンクの空に』は、その授業で学生に教えられて授業に取り入れました。この映画は、妻とその浮気相手を殺した罪で終身刑となりショーシャンク刑務所に送られてきたアンディ・デュフレイン (ティム・ロビンス) と刑務所の囚人で調達屋として知られるレッド (モーガン・フリーマン) の長年にわたる友情の話でもあります。レッドを語り手としてストーリーは進められます。



“I hope.” 映画『ショーシャンクの空に』より

銀行の副頭取であったアンディは、実は無実です。刑務所では、身体的、精神的にいためつけられますが、年月が経つうち、財務的知識を生かして非人道的刑務所長や看守の信頼を得、20年後には脱走に成功、同時に刑務所長たちの悪事も公にします。

無実を立証できる唯一の証人が刑務所長の命令で殺されたとき、アンディが自由の身になれるただ1つの希望が絶たれてしまうのですが、彼はあきらめることをしません。

アンディが脱獄した後、保釈になったレッドが、以前アンディと約束した場所に行ってみると、メキシコまでの旅費が隠されていました。バスに乗り、アンディの経営する海岸沿いのホテルへと向かうレッド。映画のことばの部分はレッドの次のナレーションで終わります。

I hope I can make it across the border. I hope to see my friend and shake his hand. I hope the Pacific is as blue as it has been in my dreams.

I hope.

そして、青くどこまでも広がる海と白い砂の上を駆け寄る友人たちの映像でこの映画は締めくくられます。

映画全体が灰色に沈んだ刑務所の中での人間模様の描写になるため、最後のシーンへの hope ということばの力は大きく、観る人は思わずレッドの願いが聞き届けられるようにと、一緒に唱和するような気持ちにさせられます。そして最後の抜けるような青い海と空のシーンへと導かれます。

I hope. この話はこの美しい響きのことばを残してくれた1つの力強い寓話です。

参考文献：Darabont, F. (1996). *The Shawshank Redemption*. A Newmarket Shooting Script Series Book. NY: Newmarket Press.

OWIIC (ONE WORLD Info Imadoki Corner)

Peter J. Collins
Tokai University

Scrolling through my friends' Facebook status updates has become part of my daily routine. This morning, I saw that my friend Beth had posted about her son's homework – avoiding tricks, and someone had replied with “**ROFL**.” I'd seen ROFL before, but had never taken the time to find out what it meant. Turning to Google, I discovered that it's an acronym standing for “rolling on the floor laughing.”

While creating acronyms is an ancient practice, the word “acronym” itself didn't appear in English until the early 1940s. It combines the Greek word *akros*, which means “tip” or “end” and the suffix – *onym*, meaning “name.” In other words, an acronym is a name formed from the “tips” or first letters of a series of words.

For decades, clever teachers have introduced acronyms to help children memorize trivia. There's a reason North Americans recite the five Great Lakes in the same order – Huron, Ontario, Michigan, Erie, and Superior – we're remembering the acronym **HOMES**. We're also taught the fictitious name **ROY G. BIV** to remember the colors of the rainbow.

Many English acronyms are familiar here in Japan: **VIP** for a “very important person,” for example, or **ATM** for an “automatic teller machine.” And new ones have been coined by the Japanese. My students are surprised to learn that I had never heard of a **CM**, an **OL**, or a **NEET** before coming to Japan. The fact that these terms all emerged independently from “standard English” illustrates the dynamic nature of Japanese English.

Phrases are sometimes constructed so that their acronyms will form a specific word. When the process is reversed in this way, the result is a “backronym.” During WWII, sweethearts wrote **ITALY** on the backs of envelopes, meaning “I trust and love you” or **HOLLAND**, for “Hope our love lasts and never dies; both of these are backronyms. More recently, the backronym **MADD**, or “Mothers Against Drunk Driving” was created to sound like “mad” or angry.

Others are more playful, poking fun at companies or people. Jokesters have decided that Delta, the airline's name, is actually an acronym for “doesn't ever leave the airport.” It's also been suggested that the **TSA**, or Transportation Security Administration, responsible for American airport safety, really means “thousands standing around.”

Social networking sites like Facebook, Linked In, and Google Plus have given rise to a whole new generation of acronyms. For many people, apparently, typing out the words “By the way” is too time-consuming, so it's replaced with **BTW**. Similarly, if someone has to take a short break from a conversation, they're likely to type **BRB** (Be right back) or

BBL (Be back later). When they're ready to pick up the conversation again, they might type **BAK** (back at the keyboard) or **BTK** (back to keyboard).

Acronyms are particularly useful when texting from a cellphone. Planning to meet your friends for coffee at 1:00 tomorrow? One of them might confirm by responding **SLAP** (Sounds like a plan) or **MYT** (Meet you there). Another might apologize, saying that they're **TCOB**, (taking care of business) tomorrow afternoon and can't join you. Your answer? **NBD** (No big deal), meaning "It's not important, so don't worry." If someone's not sure whether they can meet you, you can type **LMK** (Let me know).

Taking a test or going for a job interview? Your friends might reply **BOL** (Best of luck!) to your online announcement. If you pass that test or get that job, they might congratulate you with **WTG** (Way to go!) or **OMG** (Oh, my God!). **OMG** is one of those acronyms which has entered spoken conversation as well, and *omg!* is the name of a website devoted to celebrity gossip. But since many Christians are offended by this acronym, it's best to avoid it altogether.

BFF (best friend forever) is another acronym that has made the jump to spoken English, thanks, in part, to a competitive reality TV show called "Paris Hilton's My New BFF." At the end of each episode Paris said **TTYL** (Talk to you later) to those contestants who would be coming back for the next round. To those who wouldn't, she said **TTYN** (Talk to you never). My own reaction to her show? What a **WOTAM** (waste of time and

money)!

The networking service Twitter, launched in 2006, now boasts over 300 million users worldwide. Each post, or "tweet" is limited to 140 characters, making acronyms even more essential. Many "Twitterers" start tweets with **IMHO** (in my humble/honest opinion) to clarify that they're presenting their personal views. **IMX** (in my experience) also helps separate opinion from fact. Twitterers also use **IOW** (in other words) to explain a point further. Similarly, a tweet starting with **OH** indicates that what follows is a quotation of someone else's remarks: it was "overheard." **OH** is often used when someone is tweeting from a conference or other event.

As the culture around us evolves, we are constantly creating new ways to describe our environment. Is everyone tweeting about the Oscars show you missed? Are all your friends posting photos of their busy social lives while you're sitting at home? You might end up with a case of **FOMO**, the "fear of missing out" many people have when social networking sites make them feel that others' lives are fuller.

SWDYT (So what do you think)? As with all new language, it's difficult to predict which acronyms will still be with us in five or ten years, and which will be forgotten. In the meantime, why not try creating some new ones yourself? **YNK** (you never know), they might catch on!



平成24年度用 中学校教科書準拠 **デジタル教科書**
 教授用ソフトシリーズ

ONE WORLD English Course

1~3年

文字や絵, 写真が大きくなるからわかりやすい!



教育出版デジタル教科書のポイント

- ツールは直感的に選べるようにわかりやすいデザインにしています。
- カラーユニバーサルデザインを意識して、色数を抑えた判別の工夫をしています。
- 電子黒板がない場合も、パソコンとプロジェクタ等で使えるように設計しています。
- 文字のサイズは、読みやすさを損わない範囲で最大限大きく表示しています。

各学年予価

73,500円 (本体+税)

※各学年・各分野ごとのお求めとなります。 学年・分野をまとめた価格ではありません。

※本記載の内容、製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

■編集部からのお知らせとお願い

平成24年度の教科書に下記の訂正箇所がございます。ご指導の際にはご留意くださいますようお願い申し上げます。

	頁	行	誤	正
3年	3	12	・・・文の構成に注目しよう]	・・・文の構成に注意しよう]
	138	bedの項	go to bed 寝る, 床につく・・・94	go to bed 寝る, 床につく・・・95
	139	birdの項	bird [bɜ:rd] 名 鳥・・・11	bird [bɜ:rd] 名 鳥・・・62
	151	soの項	so [səu] 副 それで, だから・・・71	so [səu] 副 それで, だから・・・76
	152	theの項	⑥ [地名やチーム名などに]・・・23	⑥ [チーム名に]・・・72
	153	Ululuの項	Ululu	Uluru

英語教育 通信 **ONE WORLD Info** (2012年春号) 2012年3月30日 発行

編集: 教育出版株式会社編集局 発行: 教育出版株式会社 代表者: 小林一光

印刷: 大日本印刷株式会社 発行所: 教育出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 電話 03-3238-6864 (お問い合わせ)

URL <http://www.kyoiku-shuppan.co.jp>



なかよし宣言

わたしたちをとりまく自然や社会は、科学技術の進展や国際化、情報化、高齢化などによって、今、大きく変わろうとしています。このような社会の変化の中で、人間や地球上のあらゆる命がのびのびと生きていくためには、人や自然を大切にしながら、共に生きていこうとする優しく大きな心をもつことが求められています。

わたしたちは、この理念を「地球となかよし」というコンセプトワードに込め、社会のさまざまな場面で人間の成長に貢献していきます。

- 北海道支社** 〒060-0003 札幌市中央区北三条西3-1-44 ヒューリック札幌ビル 6F
TEL: 011-231-3445 FAX: 011-231-3509
- 函館営業所** 〒040-0011 函館市本町6-7 函館第一生命ビルディング 3F
TEL: 0138-51-0886 FAX: 0138-31-0198
- 東北支社** 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル 7F
TEL: 022-227-0391 FAX: 022-227-0395
- 中部支社** 〒460-0011 名古屋市中区大須4-10-40 カジウラテックスビル 5F
TEL: 052-262-0821 FAX: 052-262-0825
- 関西支社** 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-6-27 ヨシカワビル 7F
TEL: 06-6261-9221 FAX: 06-6261-9401
- 中国支社** 〒730-0051 広島市中区大手町3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル 5F
TEL: 082-249-6033 FAX: 082-249-6040
- 四国支社** 〒790-0004 松山市大街道3-6-1 岡崎産業ビル 5F
TEL: 089-943-7193 FAX: 089-943-7134
- 九州支社** 〒810-0001 福岡市中央区天神2-8-49 ヒューリック福岡ビル 8F
TEL: 092-781-2861 FAX: 092-781-2863
- 沖縄営業所** 〒901-0155 那覇市金城3-8-9 一粒ビル 3F
TEL: 098-859-1411 FAX: 098-859-1411